

## 市役所新庁舎整備に向けた取組について

市役所新庁舎については、国の財政支援メニューである市町村役場機能緊急保全事業を適用するため、今年度中の実施設計完了に取り組んでいるところです。

つきましては、実施設計の進捗状況及び今後の取組について報告します。

### 1 実施設計の進捗状況

昨年度完了した基本設計の内容をベースに、今年度新たに実施した有識者会議や市民ワークショップなど、これまで頂戴した市民意見の内容を踏まえながら、実施設計書の作成に取り組んでいます。

#### (1) 実施設計のポイント（基本設計からの主な変更点）

- ① 設計概要（電気設備計画）
  - ・太陽光発電設備を増設（100kW → 250kW）
- ② 平面計画
  - ・各局の配置場所や執務室内レイアウトイメージの記載等、平面図を詳細化
  - ・議場レイアウトについて、対面式の配置を採用
  - ・有識者会議等での意見を受け、授乳室の配置場所・空間構成を変更し、名称を「ベビーケアルーム」に変更するとともに、6階多目的スペース内にベビーケアルームを増設
  - ・障害者団体からの意見を受け、庁舎内の主要な動線に点字ブロックを敷設するとともに、市民利用エリアにカームダウン・クールダウンスペースを設置
- ③ 事業費（建設工事費）
  - ・建築資材や人件費等の原価高騰により、建設工事費が、基本設計段階の約139億円から約153億円（概算）に増加\*
  - ※交付税措置額は、基本設計段階の31億円から34億円に増加見込み

#### (2) 実施設計書（中間報告）の内容

別紙「明石市役所新庁舎建設実施設計書 概要版（中間報告）」のとおり

### 2 今後の取組

設計の詳細部分の検討を進めるとともに、構造性能評価（大臣認定）申請・公的開発事業協議申請・計画通知申請などの建設工事に必要な各種申請手続を行い、今年度中の実施設計完了を目指します。

来年度以降については、施工者選定や建設工事などの取組を進め、2027年度（令和9年度）の供用開始を目指してまいります。